



お取引先様各位

2021年6月25日
インリー・グリーンエナジージャパン株式会社

インリーエナジー（中国）カンパニーリミテッドの再建計画の実施及び今後の見通しについて

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
中国河北省に拠点を置くインリーエナジー（中国）カンパニーリミテッドは、同省の保定市中级人民法院にて2020年11月20日に正式に承認された「インリーエナジー（中国）カンパニーリミテッドおよびその他5つの製造事業体の再建計画」に基づき、2021年4月に計画を始動いたしましたのでお知らせいたします。

かつて世界一位の出荷量を誇り今なお世界最大級のソーラーパネルメーカーであり、FIFAワールドカップ（TM）にて中国企業として初めてスポンサーとなったインリーソーラーは、事業再生計画を実施し、再構築することを決定しました。

債務問題における困難な数年間を経て、インリーソーラーは会社の長期的な成功を確実にするために大きな動きをすることを決定しました。2021年4月、再編されたインリーエナジー（中国）カンパニーリミテッドの最初の株主総会および取締役会が開催され、新しい取締役および経営陣が発表・承認されました。会社の好転の兆候として、負債資産比率は劇的に59.26%にまで減少しました。この比率は、追加の資本注入が予想されるため、さらに減少することが見込まれています。

現在、金融債権者に対する債務はすべて株式化されました。地方政府が所有する投資プラットフォームは312.8 million USDを拠出しました。また、625.6 million USDの投資を検討している戦略的業界投資家とも連携しています。

「再建後、インリーソーラーは再び財政的に健全になりました」とインリーエナジー（中国）カンパニーリミテッド取締役会長の尹緒龍氏は述べています。「債務問題が生じていた困難の中にあっても、インリーソーラーは依然として高い販売量を維持し、すべての保証を行い、卓越したレベルの顧客サービスを提供してまいりました。これは、インリーソーラーのスタッフの驚くべき能力と献身の確固とした証拠であり、ビジネスの未来は明るいと確信しています。」

2020年、インリーソーラーは研究開発に更なる資金を投資しながらも2GWのモジュールをグローバルに出荷しました。さらに2021年末までに、最新のテクノロジーを取り入れることで製造を大幅にアップグレードすることを決定しています。それにより、セル生産能力を5GWに、PVモジュールの生産能力を10GWに拡大します。また、今後2年以内にPVモジュールの生産能力を15GWに拡大することを目指しています。

26GWのソーラーパネルをグローバルに出荷してきた世界最大のメーカーとして、インリーソーラーはその先端技術、高品質の技量、および広範なグローバルサプライチェーンにおいて高く評価されています。





また、中国華電集団の高効率パネル750MWのプロジェクトを落札したと報告されており、さらに複数の大規模プロジェクトにおいても現在交渉を進めています。

インリーソーラーは、ヨーロッパ、アメリカ、日本の先進製造機器を導入し、太陽エネルギー業界における上流・下流全ての工程における数千人の従業員と共に、信頼性と品質の高い製品を作ることにこだわり続けることで常にお客様のご要望にお応えしてまいります。

■インリーエナジー（中国）カンパニーリミテッドからのプレスリリース本文はこちらからご確認ください。

<http://yinglisolar.com/en/company-new/60>

■会社概要

社名 : インリー・グリーンエナジージャパン株式会社
住所 : 東京都千代田区丸の内 3-2-2 丸の内二重橋ビル 3 階
設立 : 2012 年 4 月
代表者 : 山本譲司
資本金 : 1 億円

■本件に関する問い合わせ先

インリー・グリーンエナジージャパン PR 事務局

info-japan@yingli.com